

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント	
				実施状況						
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない			
(1)利用者等の状況把握及びアセスメントに基づく計画の作成										
① 利用者等の24時間の暮らし全体に着目した、介護・看護両面からのアセスメントの実施	11		利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている	○				契約・状態変化時、介護・看護を多方面からアセスメントを行い、必要なケア内容を提案できている。今後、利用者の生活変化を把握するため、24時間生活変化シートを作成しようと思っている。	事例を聞いて、利用者に合わせた計画をたてることができ、よかったです。	
			介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている	○				看護師の毎月のアセスメントは、助言や訪問時の注意点を書面で確認。月に1回合同カンファレンスで情報共有を行えている。自事業所からはICT・電話にて共有。	ケアプラスビューリングの閲覧を薬剤師とも共有してもらえると日常生活が知れるのであります。	
② 利用者の心身の機能の維持回復や在宅生活の継続に軸足を置いた「未来志向型」の計画の作成	13		利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている	○				自立に向けた支援ができるよう、利用者の残存機能を把握しケア内容を決定している。	目標が本人にとって支えになっていたと思う事例だった。一人一人の目標を見出すことが必要だと感じる。	
			重度化しても医療依存度を高め過ぎないよう、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている		○			その都度課題を関係職種と共有し、課題解決に向けて取り組めている。先を見越したリスク管理を実現するため、その内容を計画書に反映している。	自己評価の内容を確認した	
(2)利用者等の状況変化への柔軟な対応と計画の見直し										
① 計画上のサービス提供日時に限定されない、必要に応じた柔軟な定期巡回・随時対応サービスの提供	15		計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている	○				利用者の状態に応じて、回数・訪問時間・サービス内容の変更ができている。電話対応やWEBカメラを活用するなど、対応方法を工夫し柔軟な対応ができるよう努めている。	本人の意向・状態に合わせて段階を踏みながら看護師と連携をとることができていた。	
② 繼続したモニタリングを通じた利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映	16		サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている		○			状況変化にすぐ気づくために、全スタッフが利用者の普段の様子等を把握することが必要。アセスメント内容を基に、計画書へ反映している。	違う視点で観察できることはいいが、複数のヘルパーが入る事で、対応に差があり体調変化につながることもあり得ると思う。	
(3)介護職・看護職の協働による一体的なサービスの提供										
① 介護職と看護職の相互の専門性を生かした柔軟なサービスの提供	17		より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を生かした役割分担が行われている	○				契約時に、それぞれの役割やサービス内容を決定することで、役割分担ができている。状況の変化が見られた際は、適宜相談を行いサービスの見極めが行えている。	自己評価の内容を確認した	
② 看護職によるサービス提供に関する指導、助言	18		看護職から介護職に対し、疾患予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている	○				普段と異なった症状や判断に迷う場合は早期に報告し対応方法の相談を行い、利用者の観察ポイントや介助方法・報告方法等の助言を頂いている。	お互いのサービス内容や状況を把握する事も重要になってくるのではないか。	
(4)利用者等との情報及び意識の共有										
① 利用者等に対する当該サービスの趣旨及び特徴等についての十分な情報提供	19		サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている		○			利用者、利用者家族、関係職種へパンフレットや重要事項説明書等を基に、サービスの趣旨や内容の説明を行っている。希望時は事前にサービスの特徴や趣旨を対面にて説明するよう心掛けている。	自己評価の内容を確認した	
② 利用者等との目標及び計画の共有と、適時適切な情報の提供	20		作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている	○				居宅サービス計画に基づいた計画書を作成し、書面にて内容説明を行い、同意の署名を頂いている。	自己評価の内容を確認した	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価				外部評価 コメント	
				実施状況			コメント		
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない		
		21	利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている	○				状況変化時の連絡先を事前に決め、計画間で共有している。ケアマネジャーやキーパーソンへ迅速な報告を心掛けている。 ケアマネが気が付けない情報をあげてくれるので助かっている。	
2. 多職種連携に基づいた包括的・継続的マネジメント									
(1) 共同ケアマネジメントの実践									
① 利用者等の状況の変化についての、ケアマネジャーとの適切な情報共有及びケアプランへの積極的な提案	22		ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている	○			利用者の生活環境や状態の共有を行い、必要に応じてサービス提供日時やケア内容の相談を行っている。看護師からの情報提供がケアマネジャーへ報告できていないことがあった。	本人の思いを考慮した上で回数の提案や電話だけでの安否確認など、臨機応変に対応してくれている。	
								自己評価の内容を確認した	
② 定期的なアセスメント結果や目標の達成状況等に関する、多職種への積極的な情報提供	24		サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている	○			サービス担当者会議へは積極的に参加し、現在の状況や課題点等を報告できている。	自己評価の内容を確認した	
(2) 多職種連携を通じた包括的・継続的マネジメントへの貢献									
① 利用者の在宅生活の継続に必要となる、利用者等に対する包括的なサポートについての、多職種による検討	25		利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート(保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む)について、必要に応じて多職種による検討が行われている(<u>※任意評価項目</u>)	○			まずは家族様の介護力を確認した上で、配食弁当等、利用者の在宅生活継続のために必要と思われるサービスをその都度提案している。	自宅での生活を継続するには、家族様の支援が必要不可欠だと思う。	
								自己評価の内容を確認した	
② 多職種による効果的な役割分担及び連携に係る検討と、必要に応じた関係者等への積極的な提案	27		地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている(<u>※任意評価項目</u>)			○	地域への発信が不十分のため今後の課題である。	100歳体操の時に来てもらえたからありがたい。	
3. 誰でも安心して暮らせるまちづくりへの参画									
(1) 地域への積極的な情報発信及び提案									
① 介護・医療連携推進会議の記録や、サービスの概要及び効果等の、地域に向けた積極的な情報の発信	28		介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることのできるような方法での情報発信が、迅速に行われている	○			会議の参加者へ報告書を訪問し手渡し、郵送等で配布している。事業所内はファイルにまとめ、保管している。	自己評価の内容を確認した	
								自己評価の内容を確認した	
(2) 地域包括ケアシステムの構築に向けての、まちづくりへの参画									
① 行政の地域包括ケアシステム構築に係る方針や計画の理解	30		行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している	○			法人より、定期巡回サービスが地域包括ケアシステムの中核を担うサービスのひとつであることは常時発信されている。職員については、ヘルパーセミナーにて学習している。	自己評価の内容を確認した	

タイトル 番号	タイトル	項目 番号	項目	自己評価					外部評価 コメント	
				実施状況				コメント		
				できてい る	ほぼでき ている	できてい ないこと が多い	全くでき ていない			
②	サービス提供における、地域への展開	31	サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている	○				地域に展開しているため、特定の建物に限定したサービス提供は行っていない。	自己評価の内容を確認した	
③	安心して暮らせるまちづくりに向けた、積極的な課題提起、改善策の提案等	32	当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等(保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等)が行われている(<u>※任意評価項目</u>)		○			地域の社会資源(インフォーマルサービス等)の情報を収集し、必要に応じて提案できるよう取り組んでいる。	地域住民より困っている人などの情報がないと緊急時の対応に困る。独居の方が多い特徴がある。	
①	サービス導入後の利用者の変化	33	サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている	○				計画の個別性を意識し目標設定している。達成しやすい目標を設定し、おおよそ6か月で評価をしている。	プランを決める前に本人へ聞き取りを行い、ニーズを明確にすることで個別での目標設定ができたと思う。	
②	在宅生活の継続に対する安心感	34	サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている	○				「困ったときはいつでも相談してください」と声かけを行うことで安心感につながっている。家族様はリアルタイムで閲覧できるシステムを共有する事で更なる安心感につながっている。	柔軟に対応できることも含め、定期巡回は在宅生活を支える1歩になるのではないか。	